

境界争いに関する文書を読む

資料1「地境争論二付」

(宇野家文書No. 1135)

武蔵国北根村与同国長田村野境諍論之儀、

双方を指上候絵図、以目

安遂穿鑿令見分候処、

両村を申以境目不分

明之間論地之野致入相

右之野之内以来互開

并林等仕間敷候、為後

日双方へ如此書付遣入候

上、自今以後違背

於有之者、急度可為曲事者也、

仍如件

寛永十五年

糸甚左

寅十月廿(二十)二日

花押

野々新兵

(花押)

加々民部

(花押)

松右衛門

(花押)

北根村名主百性中

資料2 「足立郡下野田村大門町芝間論争裁許絵図」

(会田家文書No.一九四一)

武州足立郡下野田村と同郡大門町芝間訴訟論令糺明之處(処)、綾瀬川端之芝間、下野田村馬草場之由雖申之、證(証)才(抛)證(証)跡無之、大門町之者申候境者、双方之畑を限り

分明二相見候、其上論所之前、水除土手大門町方普請致之、土手之上柳木境切ニ

大門町之者伐取之由、旁以大門町為理運之間、向後下野田村之者、越境不可入

為後鑑絵図之面境筋引之、加印判双方江下置之間、右之旨不可違失者也

延宝七年己未八月十四日

甲斐喜右 印

徳五兵 印

杉内蔵 印

宮若狭 印

嶋出雲 印

松山城 印

板石見 印